

2018.11.8 <計1枚>

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

人文学と現代社会の関わりを学ぶ
「縄文にハマる人々 ー人文学の意義ー」開催

文学部、環太平洋文明研究センターおよび立命館グローバル・イノベーション研究機構は、人文学と現代社会の関わりを学ぶキャリア企画「縄文にハマる人々 ー人文学の意義ー」を開催いたします。

本企画では、縄文文化に関心を持つ人々をはじめ、考古学や民俗学の専門家、さらには文化人やアーティストへのインタビューを素材として、考古学の研究が現代社会に生きる人々に与えている影響を描いた映画『縄文にハマる人々』の上映会および出演者のトークショーを行います。トークショーでは、現代社会から遠く離れた過去の研究の意義、ひいては人文学の意義や自身の将来のキャリアと文学部の学びがどのように関係しているのか等について、本学文学部の学生との議論も予定しています。縄文文化の研究から、人文学研究の意味や人文学が現代社会に深く関わっていることについて考える機会になることを期待しています。

記

日 時：2018年11月17日(土)

第1部 13:00~14:45(開場 12:00)

第2部 15:30~16:50

会 場：立命館大学衣笠キャンパス 充光館地階 JK001 教室

定 員：200名 ※一般参加の募集は終了しました

参加費：無料

内 容：第1部 映画『縄文にハマる人々』上映会

第2部 出演者・監督トークショー

- ・いとうせいこう氏(作家/クリエイター)
- ・安芸 早穂子氏(考古復元イメージ制作)
- ・山岡 信貴氏(映画『縄文にハマる人々』監督)

【司会】矢野 健一(立命館大学文学部教授)

共 催：立命館大学文学部、環太平洋文明研究センター、立命館グローバル・イノベーション研究機構

協 力：文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠リサーチオフィス 担当:岡本、福野、西村

TEL.075-465-8224

<http://www.ritsumeit.ac.jp/research/rcppc/>